

昨秋中国大会準V 部員16人で手にした切符

スポーツニッポン 大阪本社 06(6346)8500  
 〒530-6278 大阪市北区梅田3の4の5 ©スポーツニッポン新聞社2019(日刊)  
 昭和24年2月10日創刊 http://www.sponichi.co.jp/  
 2019年1月26日【土】(反引)  
 (平成31年) 第25051号 10版山

**PLAY**  
 自分き遊べ、世界き遊べ。  
 Venus Gallery

◆米子東 1899年に鳥取県第二中学校として創立された県立校。1949年に現校名となる。野球部は1900年創部で夏の選手権大会地方大会皆勤15校の一つ。25年夏に甲子園初出場し60年春は山陰勢唯一の決勝進出を果たし準優勝。通算16勝(春8、夏8)。主なOBに湯浅禎夫(元毎日監督)、土井垣武(元阪神)、宮本洋二郎(元広島)ら。

夏の地方大会皆勤のレジェンド校  
 23年ぶりのセ  
 ンバツに向け意  
 込み米子東の選  
 手たち(撮影・後藤大輝)



3・23開幕 出場32校決まる

第91回選抜高校野球大会(3月23日開幕、甲子園)の出場32校を決める選考委員会は25日、大阪市の北区毎日新聞大阪本社オパールホールで開かれ、昨秋の中国大会で準優勝した米子東(鳥取)が23年ぶり9度目の出場を決め、古豪復活を果たした。組み合わせ抽選は3月15日に行われる。  
 【関係記事4、5面】

うどん屋のだしを  
 ご家庭で  
 テイスティ  
 〒581-0016 大阪府八尾市八尾木北2-44  
 TEL: 072-995-1515

主将・福島康「応援してくれる人がたくさんいる。全力で戦うところを見てもらいたい」

**母校再建へ「紙本改革」**  
 船色した山陰の空に、歓声が響いた。部員16人、学校関係者、そして多くのOBが待ちわびた23年ぶりの甲子園切符。決定の報を冷静に受け止めた紙本庸由監督(37)の胸に、新たな闘志が宿っていた。一まずは、あのユニホームを甲子園に戻して良かった。公立の進学校でも、これだけの野球ができるんだということを見てもらいたい。

**福島悠&森下 投打の柱**  
 部員はわずか16人でも、鍛え上げられた実力派がそろった。主砲の福島悠高(2年)は打力を生かすため、夏の大会後には全4試合で打点を挙げる活躍を見せた。エース森下祐樹(2年)は、制球と球の切れで勝負するサウスポー。マウンド度胸もいい。そして主将の福島康太内野手(2年)は伝統の力を口にして、応援してくれる人がたくさんいる。全力で戦うところを見てもらいたい。  
 (堀田 和昭)

県下屈指の進学校。60年選抜で決勝まで進み、文武両道を地で行った名門も、近年は低迷が続いた。指揮官が就任した13年秋の時点で、夏の県大会6年連続初戦敗退。母校再建のため、30代の青年監督はあらゆる改革を断行した。前任校の倉吉東コーチ時代からコーチングを勉強。対話で選手の潜在能力を引き出し、営業関連の本から目標達成のノウハウを得た。短距離走の専門家から学んだ走法をチームに持ち込み、栄養学も運動力学もチーム強化に役立てた。「新しいこともやるけど、科学的見地で納得しないといけない」。勉強熱心で、斬新な取り組みが多い一方で、昔ながらの根性論も完全否定はしない。必要なら、精神面を重視する昔気質の監督にも教を請うた。

伝統校の「風景」を変え、前進した成果は昨秋ついに表れた。本命視された県大会で準優勝し、中国大会では開星(島根)、倉敷商(岡山)と全国常連校をいずれも接戦で下して準決勝へ。タイブレーク13回までもつれた呉(広島)との準決勝を制し、四半世紀ぶりの聖地を現実にした。



履正社医療スポーツ専門学校  
 履正社スポーツ専門学校 北大阪校

ダイヤの選抜が  
 イエローハット  
 0120・14・1356  
 購読お申し込みが時間フリーダイヤルです